

# 未来 農業 DAYS

2018年3月7日

- アワード部門：農山漁村女性活躍表彰
- コンペ部門：第2回大地の力コンペ
- 「これまでとこれから」パネルディスカッション

主催：未来農業 DAYS 実行委員会

(農山漁村男女共同参画推進協議会 & 女性未来農業創造研究会)

特別協賛：公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 後援：農林水産省

会場：東京大学安田講堂 東京都文京区本郷7-3-1

# 平成 29 年度農山漁村女性活躍表彰

## 目的

農林水産業に従事する女性は、農山漁村を支え、農山漁村生活の充実と6次産業化をはじめとした地域経済の活性化に重要な役割を果たしており、その能力が一層発揮されるよう支援していくことが必要です。

また、女性の役割の重要性が高まっている中、地域社会や農林水産業経営や政策・方針決定過程への女性の参画状況、関係組織への登用状況は、いまだ十分でないことから、さらなる参画の拡大を促進するとともに、女性農林水産業経営者の能力を最大限に活かし活躍してもらえよう環境を整備し、次世代リーダーとして農山漁村を引っ張る女性を増やしていくを通じ、農林水産業の発展を図ることが必要です。

このため、農林水産業及び農山漁村の活性化や農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入など女性活躍推進のために積極的に活動している個人又は団体を表彰することにより、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりの推進に資するものとします。

## 受賞個人・団体

### 最優秀賞

(農林水産大臣賞)

A 女性地域社会参画部門	群馬県	前橋市	青木 朱美
B 女性起業・新規事業開拓部門	熊本県	天草市	益田 沙央里
C 家族経営女性参画部門	長野県	長野市	羽生田 寿子/羽生田 春樹
D 女性活躍農業法人部門	静岡県	浜松市	株式会社 カクト・ロコ
E 女性登用・組織参画部門	岩手県	盛岡市	いわてポラーノの会
F 若手女性チャレンジ部門	富山県	入善町	森下 さゆり

### 優秀賞

(経営局長賞)

A 女性地域社会参画部門	埼玉県	さいたま市	見川 せつ子
B 女性起業・新規事業開拓部門	栃木県	益子町	布瀬 智子
C 家族経営女性参画部門	長崎県	島原市	松本 綾子
D 女性活躍農業法人部門	埼玉県	吉見町	有限会社サニベルグリーンハウス
E 女性登用・組織参画部門	福井県	福井市	福井県農業委員会女性委員の会
F 若手女性チャレンジ部門	香川県	さぬき市	金江 ちひろ

(林野庁長官賞)

愛知県 大口町 前田 臣代 (B 女性起業・新規事業開拓部門)

(水産庁長官賞)

三重県 尾鷲市 株式会社 梶賀コーポレーション (A 女性地域社会参画部門)

### 優良賞

(全国森林組合連合会長賞)

石川県 金沢市 もりラバー林業女子会@石川 (F 若手女性チャレンジ部門)

(全国農業協同組合中央会長賞)

香川県 東かがわ市 木村 京子 (A 女性地域社会参画部門)

(農山漁村男女共同参画推進協議会長賞)

A 女性地域社会参画部門	北海道	遠軽町	白滝じゃが生産部会加工班
B 女性起業・新規事業開拓部門	群馬県	昭和村	保坂 洋子
F 若手女性チャレンジ部門	鹿児島県	指宿市	大吉 枝美

# 審査員

## ◆審査員長◆

岩崎 由美子 氏 福島大学行政政策学類 教授

●経歴●

埼玉県生まれ。早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。住民主体の計画づくり、農山村地域活性化、農村女性起業、震災からの地域復興などを研究。主な著書として、『食と農でつなぐ 福島から』（岩波書店、共著）、『小さな自治体の大きな挑戦—飯館村における地域づくり』（八潮社、共著）、『女性の参画と農業・農村の活性化』（全国農業会議所）、『成功する農村女性起業』（家の光協会、共編著）など。



納口 りり子 氏 一般社団法人 女性未来農業創造研究会 代表理事 / 筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授

●経歴●

1957年生 神奈川県小田原市出身。蜜柑農家の次女として誕生し、北海道大学農学部農業経済学科卒業。その後、農林水産省の試験研究機関（東京・つくば・新潟県上越市）で21年間、先進農業経営者の経営管理や農家間の組織化などについて研究を行う。2000年から筑波大学にて、教育と研究に従事。



五條 満義 氏 東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科 准教授

●経歴●

全国農業会議所に8年間勤務後、1997年々に東京農業大学専任講師、2003年に助教授、07年から准教授。国の第2次・第3次・第4次「男女共同参画基本計画」の策定をめぐり、内閣府男女共同参画会議専門委員を務めた。著書に『家族経営協定の展開』（筑波書房・2003年）、『中国の大学と農村は今』（東京農大出版会・2008年）、『家族経営協定 最前線』（全国農業会議所・2010年）などがある。



小川 理恵 氏 JC 総合研究所 主席研究員

●経歴●

一般社団法人JC総研 基礎研究部 主席研究員。1997年に、JC総研の前身である社団法人地域社会計画センターに入会。総務課長、企画調整室長を経て研究職に職種転換、現在に至る。研究分野は地域づくりと女性活動。主な著書に『魅力ある地域を興す女性たち』（農文協、2014年）、「躍動するJA女性部が核となり地域活性化をプロデュース～JA静岡市女性部美和支部 アグリロード美和～」石田正昭・小林元編著『JA新流 先進JAの人づくり・組織づくり』（全国共同出版、2016年）、『営農経済事業イノベーション戦略論』（共著、筑波書房、2018年）他。



永井 進 氏 株式会社 永井農場 代表取締役 [www.nagaifarm.co.jp](http://www.nagaifarm.co.jp)

●経歴●

1971年、長野県小県郡東部町（現・東御市）生まれ。北海道酪農学園大付属高校 酪農経営科、北海道文理科短大酪農科で学び、卒業と同時に就農。

1996年、農業生産法人 有限会社永井農場を設立 2009年8月、代表取締役就任。

『よろこばれる』を会社のミッションとして地域に根差した循環型農業を基盤にして生産から加工販売まで6次産業化を展開。2011年、第50回農林水産祭において天皇杯を受賞



安形 京子 氏 （一社）全国農業経営コンサルタント協会 理事 / 安形税務会計事務所 税理士・行政書士

●経歴●

福島県会津生まれ。1974年名古屋市民生局委託社会福祉施設に勤務。その後養豚農家に嫁ぎ農業の現状を知る。税理士事務所に勤務の傍ら経済学部編入し 1995年安形税務会計事務所を設立。当初より農家の応援を使命と位置づけ愛知県農業経営改善支援センタースペシャリストに登録し県の普及所、市の農政課、JA関係等の依頼で農業簿記会計及び税務の講師。（一社）全農協会員登録し当組織での農業簿記検定試験立上げメンバーに加わり、教科書作りや試験委員にて活動。日本政策金融公庫農業経営アドバイザー試験合格、食Pro. レベル3取得、AFP、経営革新等支援機関認定。日頃は税理士事務所の所長として個人・法人・資産税等の税務会計に従事。



# 受賞者

平成29年度農山漁村女性活躍表彰では、以下の7部門を表彰いたします。

- A. 女性地域社会参画部門  
農山漁村の女性が中心となった地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動等を中長期に渡り積極的に実施している取組。
- B. 女性起業・新規事業開拓部門  
女性ならではのアイデア等に基づいた起業活動や新規事業により成果を得ている取組
- C. 家族経営女性参画部門  
家族経営協定の締結を契機に仕事・生活面において役割分担を明確化し女性が活躍している取組
- D. 女性活躍農業法人部門  
女性のキャリア形成・育児などの就業規則等、女性が働きやすい環境整備している法人
- E. 女性登用・組織参画部門  
政策・方針決定過程への参画を推進するため、積極的に役員等への女性登用に努め効果を上げている組織
- F. 若手女性チャレンジ部門  
他産業で培った知識を活かした取組やこれまで女性が携わることの少ない部門への参画など若手女性の取組

## 農林水産大臣賞

### A. 女性地域社会参画部門



#### 青木 朱美 群馬県前橋市

農業後継者として就農。結婚後は野菜栽培に取り組み、認定農業者としてパートナーシップ経営を実践。消費者や子ども達に自然とのふれあいや農業の大切さを伝えたいとFANクラブ（富士見村の農業と自然を愛し守る会）を設立。食農体験活動の先駆的事例として地域内交流から国内、海外の都市交流事業にも発展させる。ぐんま女性農業委員会女性ネットワーク会長、群馬県男女共同参画協議会推進委員会委員など前橋市・群馬県における各種委員会の委員をつとめ、女性の社会参画推進と地域発展に貢献している。

地域の魅力を次世代につなぎます

## 農林水産大臣賞

### B. 女性起業・新規事業開拓部門



#### 益田 沙央里 熊本県天草市

クルマエビ養殖業界の衰退に危機感を抱いた氏は販売部門を立ち上げ、1年目は自作のチラシのポスティングから始め、5年で売上を12倍に伸ばす。環境悪化により、前年の1/3の生産量となった年には、同業者との交流に取組み、新たな販売の仕組みを構築するなど、常にピンチをチャンスに変えて事業を行ってきた。現在は、自社の販売部門を独立・株式会社化させ、地元農林水産品約300商品を扱う。取組は天草の生産者や取引先、地域全体を活性化させる活動となっている。

百年先も天草で生産を続けたい

## 農林水産大臣賞

### C. 家族経営女性参画部門



#### 羽生田 寿子／羽生田 春樹 長野県長野市

結婚当初から栽培全般に関わる。平成11年に家族経営協定を夫・義両親と締結し、役割分担の明確化、休日の導入等、企業的な経営理念を積極的に取り入れている。規格外のりんごに付加価値を付けるため、「天日干しりんご」の加工所を平成26年に建設、同年「株式会社はねげん」を立ち上げた。長野県農村生活マイスターとして、例年有志で「長野市女性市議と女性農業委員との懇談会」を開催、農村女性の声を施策に反映する活動を行っている。

夫婦で仲良く、りんご一筋40年

## 農林水産大臣賞

### D. 女性活躍農業法人部門



### 株式会社 カクト・ロコ 静岡県浜松市

設立は平成16年、経営主の妻野末信子氏が代表取締役现就任。当時一般的ではなかった多肉植物のPRのため、全国のホームセンターを巡回、寄せ植え体験を行うなど、知名度を上げる活動を代表自ら実践。また、地域の女性を積極的に雇用し、女性の視点や感性を活かした事業を展開して、売り上げを伸ばしてきた。育児休業中の代替要員の確保や時短勤務、パートから正規雇用への登用など、制度面でも働きやすい職場環境の整備に努めている。

野末信子社長と社員の皆さん

## 農林水産大臣賞

### E. 女性登用・組織参画部門



### いわてポラーノの会 岩手県盛岡市

平成28, 29年(7月時点)に新体制に移行した17全ての市町村長、議会議長に対して、会の理事、会員が女性農業委員の登用について要請活動を行った他、後継者等を対象とした農業委員会業務等の勉強会の開催、候補者のリストアップ・訪問勧誘なども実施。各地区の役員が中心となり、地区別懇談会、女性農業者との意見交換会や農業委員会業務のスキルアップを図るための研修会も開催。28年度末には、全ての市町村で女性の農業委員が選出され、女性の割合は13.7%で全国1位となった。

松本会長と会員による要請活動

## 農林水産大臣賞

### F. 若手女性チャレンジ部門



### 森下 さゆり 富山県入善町

非農家出身の森下氏は平成3年結婚。早折した姑に代わり、家事、家庭管理を担いながら、特産の入善ジャンボ西瓜の販売管理と顧客管理、経理も担当した。平成6年に法人化、取締役现就任。園芸部門の責任者となり、西瓜に次ぐ作物「モモ」を導入、野菜の生産も始めた。地域の若手女性と野菜の生産管理を学びながら直売所の品目と量を拡大し、それぞれの経営発展の機会を作ろうと、組織を創設。活躍は県下にも周知され、富山県農業法人協会の副会長、富山県農政審議会の委員にも就任。

園芸責任者として新作目に挑戦!

## 経営局長賞

### A. 女性地域社会参画部門



### 見川 せつ子 埼玉県さいたま市

地域の若手女性グループの活動を起点とし、地産地消に継続的取り組み、学校給食への地場農産物の活用率を7年間で4.3倍に増加させた。一般消費者に向けた料理講習会等で、特産野菜の維持・普及、伝統食の伝承に取り組む。平成14年ブルーベリー摘み取り園と加工所、市内初の農家レストランを開設し、都市近郊の観光農業の先駆的事例となる。活動は県域を越え、JA埼玉県女性組織協議会会長として活躍した他、現在JAさいたま総代、さいたま市都市農業審議会委員に任命されている。

農村レストランでの視察受け入れ

## 経営局長賞

### B. 女性起業・新規事業開拓部門



#### 布瀬 智子 栃木県益子町

県産の牛乳と、県オリジナルブランドのいちごや県産果物等、県産農産物をふんだんに使用したこだわりのジェラートを数多く開発。また、町やJA、酒蔵、窯元等と連携、地域の活性化を目的とした協議会を立ち上げ、観光バスの周遊ルートの開拓を行うなど、積極的に地域経済の活性化にも尽力。新規事業の開拓と積極的な誘客は、農村地域の女性の雇用創出につながり、起業に関する講師役を担う等、女性活躍の環境づくりにも貢献している。

直営店におけるジェラート販売

## 経営局長賞

### C. 家族経営女性参画部門



#### 松本 綾子 長崎県島原市

松本氏は、非農家出身。生姜を中心とした露地野菜専門農家に嫁ぐ。平成23年度JA中央会主催「ご当地スイーツコンテスト」で最優秀賞を受賞したのをきっかけに加工品開発に積極的に取り組む。家族経営協定を締結した平成25年に加工所を建設。6次産業化総合化計画が認定され、夫が総責任者、綾子氏を商品開発および販路開拓担当として位置づけ、加工開発・販売だけでなく農商工連携による新たな地域特産品作りを始めた。平成29年に法人化。

人とのつながりが我が家の財産

## 経営局長賞

### D. 女性活躍農業法人部門



#### 有限会社サニベルグリーンハウス 埼玉県吉見町

代表の妻である取締役と女性従業員が中心となり、他に先駆けて直売部門を併設、消費者向けの園芸講座を開講するなど、積極的なPR活動を実施、売り上げを向上させている。また、外部での活動も積極的に行っており、取締役を中心に、花卉園芸関連団体主催の園芸講座や、指導者の育成にも注力している。育児、介護休暇、短時間勤務等の制度や作業や資材を工夫し、女性が働きやすい環境を整備している

社員講師による寄植え講座

## 経営局長賞

### E. 女性登用・組織参画部門



#### 福井県農業委員会女性委員の会 福井県福井市

平成22年度に設立以来、北信越ブロック研修会、全国女性農業委員登用促進研修会に参加し、女性が参加する会合および常設審議委員会等で報告。改選時には、女性委員の継続登用や、女性委員がない委員会の解消に向け、当会の女性委員・推進委員の役割や、必要性をアピール。地域での登用に、理解・協力を依頼している。新制度に移行した委員会では、農地利用最適化推進委員に女性委員が5名登用され、女性委員が増加した委員会は2市町、女性委員がない委員会は1町となった。

女性委員登用を委員会席上で説明

## 経営局長賞

F. 若手女性チャレンジ部門



### 金江 ちひろ 香川県さぬき市

学生時代より援農に参加するなど、農業に関心を持つ。雇用就農を経て、養鶏場を営む金江氏と結婚。経営に参画するとともに、直売に加え付加価値をつけた料理やさぬき市の地域資源である桑の葉を活用したスイーツ等加工品を販売する店舗「かなたまキッチン」も開店する。東讃地域の女性農業者の組織を立ち上げ、学生、企業とのプロジェクトを実施するなど、地域と密着した活動にも積極的に取り組んでいる。

直営店「かなたまキッチン」にて

## 林野庁長官賞

B. 女性起業・新規事業開拓部門



### 前田 臣代 愛知県大口町

全国に先駆けてコンテナによる苗木の生産を手がける。調査研究を重ね、苗木生産の課題である得苗率の向上に努めるとともに、器具の開発、改良を行い作業の軽減化を進め、地域の女性や高齢者の雇用創出に繋げている。また、新規参入希望者の視察も受け入れ、経験や技術について惜しみなく伝える。愛知県林業種苗協同組合では平成19年から理事を務め、29年には組合初の女性理事長となり、種苗生産技術の向上、優良種苗の安定供給に尽力している。

子孫の未来を苗に託し育ててます

## 水産庁長官賞

A. 女性地域社会参画部門



### 株式会社 梶賀コーポレーション 三重県尾鷲市

地区の婦人会を母体に、梶賀町に100年以上前から伝わる未利用魚を使った燻製保存食、「梶賀のあぶり」の製造・販売を行う。商品の改良、PR活動、商談会への参加など、地域おこし協力隊と連携し県内や、東京などでの販売の他、体験や、古民家を利用したカフェでの食事提供も始める。訪問客や取材の増加など波及効果により、町の知名度も向上。人口減少や高齢化が進む梶賀町を活性化し、新たな雇用の場を生み出したいと、町民有志も出資し29年4月株式会社化した。

あぶりが町おこしのきっかけに!

## 全国森林組合連合会長賞

F. 若手女性チャレンジ部門



### もりラバー林業女子会@石川 石川県金沢市

平成25年に森林の保全や森づくりの進展のため、一般の人に林業に対する理解を深めてもらうことを目的として設立された。年4回程度、森林と木の役割を知るイベントを開催、SNS等を通じ、林業や森づくり、里山に関する情報の共有・発信に取り組んでいる。4人で発足した会は現在89人となり、多くの女性に林業の魅力や森林資源の利活用の大切さを伝え、今後も更に活動の拡がりが期待される。

森の女子会・オトメな遠足

## 全国農業協同組合中央会長賞

### A. 女性地域社会参画部門



### 木村 京子 香川県東かがわ市

木村氏は夫妻で農林業を営み、平成19年度に家族経営協定を締結。自宅横にイノシシの解体を行う食肉処理場と直売所を設け、獣害軽減と地域の特産品づくりに努めている。平成13年に直売所「五名ふるさとの家」を開設。五名地域の産物の販売や自然と触れ合う体験教室を主催。地域住民や、都市住民との交流の場となっている。各種研修会や交流会に積極的に参加し、農業研修生の受け入れなど担い手育成にも真摯に取り組んでいる。

地元の郷土料理を次世代に

## 農山漁村男女共同参画推進協議会長賞

### A. 女性地域社会参画部門



### 白滝じゃが生産部会加工班 北海道遠軽町

合併によってなくなる村名を残そうと、特産品のじゃがいものブランド化に村をあげて取り組む中、生産する女性農業者が自分たちにできるPR方法として加工班を結成。レシピを販売時に同封する他、じゃがいも料理のレシピを公募・PRする料理コンテスト「じゃがリンピック」を開催。発行したレシピ本は、6,800部を売り上げた。取組は、白滝じゃがの知名度を上げるだけでなく、町外との交流人口増加など、地域活性化に繋がっている。

次世代につなぐ白滝への想い!

## 農山漁村男女共同参画推進協議会長賞

### B. 女性起業・新規事業開拓部門



### 保坂 洋子 群馬県昭和村

平成14年、赤城高原サービスエリア内で、ほさか農園としていちごの直売を開始。平成20年には野菜コーナーを任されたことを契機に、自家農産物だけでなく、「昭和アグリ」を組織して、地元野菜の販売を行う。生産者がよい物を作り、自ら農産物に適正価格をつけ販売するという高付加価値農業の先駆けとして事業展開しており、地域農業の振興における貢献度は高い。

プレミアムやよいひめとハウスにて

## 農山漁村男女共同参画推進協議会長賞

### F. 若手女性チャレンジ部門



### 大吉 枝美 鹿児島県指宿市

夫と共に農業経営に参画し、栽培管理の他、営業活動、雇用管理、複式簿記記帳による経営管理等を担っている。「女性農業次世代リーダー育成塾」で事業経営について学んだことを活かし、自社農園のブランド化やJ-GAP認証の取得など、高品質な農産物の生産や新たな販路開拓、規模拡大と事業を展開している。また、地域の高齢者や子育て期の女性を積極的に採用するとともに、女性が働きやすい環境の整備にも取り組んでいる。

マルシェで自社ブランドをPR